

令和6年度自己評価・学校関係者評価・外部評価結果公表シート

中央保育園西方寺 認定こども園

1、本園の教育・保育目標

生きぬく力の礎を育てる：心の力、体の力、学ぶ力を育む

「心の力」：様々な園内行事の中で経験を積む事で、頑張る事や我慢する心を養い立ち向かってくる壁を自力で乗り越えられる強い心の基礎を作る。

また、大自然の中で積極的に遊ぶ事で、子供たち同士のふれあいや助け合い、菜園での体験等「食育」を通して「生かされている命」に自ら気づいていく事で「感謝する心」を育てる。

「体の力」：「横峯式保育」の一環である柔軟体操を通し、十分に体を動かす事により健康で丈夫な体が作られ、正しい生活リズムを身に付ける。

「学ぶ力」：読み、書き、計算と勉学を通して自分で考えさせる事で身に付く喜びを感じ、その自学自習の精神が学力の向上へと結びつく。

2、本年度、重点的に取り組む目標・計画

教育及び保育の目標、主な内容

「いろいろな子どもとかかわる中で違いを感じながら、友達の考えを受入れ、又子どもの主体性を尊重すること」を目指し、2歳児（3号認定子ども）～3歳児（2号認定子ども）への滑らかな接続を考慮した保育を行う中で、一人一人の気持ちの安定や経験を積み重ね子どもが自己選択自己決定し、自分らしく生活や活動を進められる子どもを目指したい。

家庭や地域、関連機関と積極的に連携や協力をを行い、積極的な子育て支援活動の取組を継続、推進すると共に、特別支援教育の充実、幼児一人一人の特性に応じた指導の充実につなげたい。

3、評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取組状況
子育て支援の充実	<ul style="list-style-type: none">・一時預かりを行い、急遽教育・保育が必要となった子どもや、保護者への支援ができた。・地域の子育て世帯、在園児の保護者に向けて子育て支援を行っている。・自主事業として病児保育（体調不良型）を行い、体調不良児をお迎えが来るまで預かったり、必要に応じて病院まで連れて行き、その場で保護者と合流するなど、今までできなかった支援が行えるようにしている。
職員の資質向上	<ul style="list-style-type: none">・Zoom等を活用し県内外の研修に積極的に参加させ、園内研修を通じて、外部で学んだ研修内容を共有し、実践することで、質の向上を図った。・PDCAサイクルを回すことで、単にやりっぱなしの教育・保育ではなく、常に子ども達にとってより良い保育になるように、努めている。

令和6年度自己評価・学校関係者評価・外部評価結果公表シート

中央保育園西方寺 認定こども園

4、認定こども園評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

- ・今年度は、幼保連携型認定こども園9年度目となり、昨年度を振り返りながら活動を行った。保育所から認定こども園に移行し9年度目ということもあり、保護者、職員共に大きな混乱もなく、運営できていると感じる。
- ・平成29年度から処遇改善Ⅱによる、職員の資質向上に向けたキャリアアップ研修の1分野以上の受講率は昨年度81%で今年度86%だった。オンラインでの研修受講等も増えている為、積極的に参加させ、1分野以上の取得率100%を目指し、さらに複数分野受講するよう促し、さらなる資質向上を目指していく。

5、今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
横峯式保育の理解と認識	<ul style="list-style-type: none">・横峯式保育を取り入れてから、15年になるが、未だ体操を行う保育園＝スパルタという誤ったイメージがある。本来の、子どもの主体性を尊重し、自ら進んで意欲的に活動する日々の姿を、保育参観や保護者参加の行事を通じて広めていく。また、体操だけでなく、心の力や学ぶ力の教育に重点を置き、教育・保育活動を行っている点も同様の方法で広めていきたい。さらに、ネイティブによる英語教室を行っているが、知らない方が多い為、SNS等を利用し周知していきたい。
保護者・外部への情報提供	<ul style="list-style-type: none">・保護者からのアンケート結果より、小学校との交流活動を積極的に取り組めていないという方が39%だった。SNS(現在、当園のインスタグラムフォロワー数281)を利用し、連携、接続に関する幼・保等・小・中連絡会への職員の参加や、就学する学校への体験入学等を保護者、外部の方にも発信していこうと思う。

6、学校関係者の評価

育友会役員より子どもたちの発達や安全な環境を確保するため、5段階で評価してもらった。「子どもたちのために常に向上心を持って保育・教育にあたっている」「目標に沿って教育・保育が行われており子どもたちも目標を持ち達成感を得られている」「他者からの評価も得ていて公表していることが凄い」「園内に方針などの掲示があり保育に入る前に確認できるようになっていて良い」などの評価をいただいた。今後も子どもたちの将来のため、保護者の皆さんと職員が一丸となって教育・保育を行っていきたい。

7、外部者の評価

第三者の目を通して保育を見つめ直すことで、課題に気づき改善に役立てることを目的とする公開保育を行った。今年度は全国の教育・保育の専門家であるアンバサダーに加え、小学校の校長、教頭先生、市役所こども子育て課 課長にも来ていただき、当園の教育・保育を見てもらった。「園の理念、指導方法に沿った保育、教育が職員一丸となって実践されている」「園児が次に何をするか理解して主体的に動けていた」「子どもたちが自分のペースで出来ることを頑張っていて笑顔で楽しんでいた」という評価を頂いた。これまでになかった視点も含めた評価をして頂き、自分たちの教育・保育の見直しと更なる質の向上を目指していきたい。

8、財務状況

毎月、税理士の監査を受け、また毎年、公認会計士の監査を受けており、適正に運営されていると認められている

令和6年度自己評価・学校関係者評価・外部評価結果公表シート

中央保育園西方寺 認定こども園